社会福祉法人
熊本市社会福祉事業団
笑顔のあるくらし、支えます。
はなぞの学苑

はなぞの

苑長室だより
第 38号
2014.12.15

１２月の保護者会　お世話になりました

先週の１０日(水)の１０時から全体会が始まり、学苑からの連絡･報告、グループ毎の懇談会と行われました。寒い中にお集まりいただきありがとうございました。

学苑生活の見直しと充実ということで取り組んできていますが、まだまだ不備なところも多々ありますが、それなりに少しずつ充実してきていると思っています。特に、土曜･祝日の活動では、いろいろと工夫してもらっていますので、職員には感謝しているところです。そうめん流しや焼き芋･バーベキュー・パン作り体験･買い物などなど、楽しい活動ばかりでした。

その中でも、女性利用者への美容教室はとてもいい企画だったのではないでしょうか。化粧だけではなく、着たい服を選んだりとかコーディネートとしたりとか、男性利用者にも通じるものがあると思います。

学苑からの連絡･報告については、ご参加できなかったご家庭にも、資料を利用者さんに持ち帰っていただいてますので、ご不明なところやご意見等がありましたら、ご遠慮なくご連絡ください。

「面倒だから、しよう」

これは、ＴＵＴＡＹＡの売れ筋ベストテンに３冊も入っていたノートルダム清心学園理事長である渡辺和子さんの本のタイトルです。私が、先月の健康診断の折りに読んだ本なんですが、短編集のためアッという間に読み終えてしまいました。

文を読みながら、これも当てはまるなあ、こんなことはできるのかなあ、などなど思いました。それでも、これらの少しでも意識をしながら歩んでいくことができたら、もうちょっとましな歩みができるのでは……。

渡辺さんはシスターですから聖書のお話となりますので、文章を載せることはあまり好ましくないかと思い、名言を２つ載せてみました。また機会があれば掲載したいと思っています。

面倒だからする
よりよく生きるということは、自分中心に生きようとする傾向と闘うこと。
人は誰でも楽な道を歩もうとする。そんな自分に打ち勝つ強い心を持とう。

疲れた自分を癒す秘訣
つまずくのはあたりまえ。つまずいたおかげで気付くものがある。
うぬぼれていた自分を見つめ、謙虚になる機会にしよう。

健康には十分に注意をしていきましょう

先月は、保護者の方が入院されたりして、利用者の方もお休みされるということがありました。これからますます寒くなってきますので、お体には気をつけてください。

保護者会でもお知らせしましたが、職員の一人が軽い脳梗塞を起こし治療中です。今後リハビリをされてということになりますので、復帰の時期についてはまだ未定ですが、１日も早い現場復帰を願っています。。

かくいう私も、左足と右足と一緒に下肢静脈瘤を処理しましたので、もうしばらくはぎこちない歩きとなってしまいました。高血圧もありますので、十分に気をつけていかなくてはと思っています。